

令和4年度 長崎県立口加高等学校 学校評価表

本校教育方針	新しい時代を逞しく切り開く知・徳・体の調和のとれた人間の育成を図り、郷土や国際社会に貢献できる有為な若人の育成を目指す。
目指す生徒像	(1) 自律の心で自分の意志や判断によって行動する生徒 【主体性】 (2) 利他の心で公共のために他者と協力・活動する生徒 【協働性】 (3) 寛容の心で他者の価値観を尊重し多様性を受容する生徒 【多様性】
前年度の成果と課題	(1) 全体的には適切な指導が行われ、一定の成果を上げている。 (2) 大学・短大・専門学校等への進学、福祉系・公務員を含む就職など多様な進路志望に対応するのが本校の魅力の一つである。そのために、進路情報の提供や外部講師の講演会などによる進路意識の向上や公開授業、授業力改善など指導体制を整備する必要がある。 (3) 福祉科の国家試験合格率や進路実績が地域への最大のアピールとなる。結果や指導方法を検証し、もっと生徒の力を付けていきたい。 (4) 入学者数を増加させるため、新たな視点での広報活動や生徒募集に力を入れる必要がある。
努力目標	(1) 信頼される学校の確立 (4) 品性ある生徒の育成 (2) 確かな学力の保証と進路の実現 (5) 文化・体育活動の振興 (3) 豊かな心の育成 (6) 保健・環境美化の充実

令和4年度 学校自己評価（最終評価）

【学校自己評価】分掌等で設定した目標について4段階で評価する。

4：十分達成できている 3：ほぼ達成できている 2：あまり達成できていない 1：達成できていない

分掌等	努力目標	具体的な方策	最終評価 (4段階)	成果と問題点	次年度改善策
教務部	(1) 円滑な校務運営	①各学年や他分掌との意思疎通を図ることで連携を密にし、学校行事の円滑な企画・運営を行う。	3.5	教務部では担当者が週案・月案の調整会の早めの提示を徹底し、各担当分掌などが調整をしやすいようにしている。	教務部としては、引き続き早めの提示を徹底する。その際、今後も、教務部からの立案事項は教務部会検討、調整会での提示、再調整、職員会議への提示、の手順を踏まえて適切に企画立案を行っていく。
	(2) 教育課程及び教務事務の適切な実行	①編成した教育課程が生徒の学力伸長や進路希望などの実態に即しているかを精査し、より実効的な教育課程の編成を行う。	3.6	今年度の教育課程委員会でもカリキュラムの微修正を教科やコースから提案いただき実効的なカリキュラムの話し合いができて感謝しています。	毎年7月にはカリキュラム編成が必要。教務部としては、スケジュールと委員会段取りをさらに精査していく。
		②普通科、福祉科を備える公立高等学校として、適切な授業と評価を行い、出席管理、諸票簿管理、日課管理等を厳正に行う。	3.7	特に新課程では公正・正確な評価ができる環境を教務部として整えないといけないと考えている。	考査などの評価機会の再考を検討しているところである。
	(3) 事務室と連携して、教育環境を整備する。		3.5	廃棄や整備を積極的にしていただいた。事務室の先生方いつもありがとうございます。	
(4) 図書館運営の充実	①「総りの時間」や情報誌を活用し、図書館の利用をより高めるための環境づくりに努める。		3.4	選書や購入に加え、廃棄本の在り方を検討できた。図書委員手書きの図書だよりの定期発行ができた。	総りの時間がカットになりがちな点の改善策の検討をする。
		②図書委員会の活性化を図り、図書を整備・点検、及び興味・関心を抱きやすい図書の充実を図る。	3.6	掲示板を活用した興味関心の喚起が充実できた。図書だよりで先生方のインタビュー式推薦書紹介を新たに掲載できた。	現状でも少ない担当者でよく工夫されていることに感謝している。

広報 研修部	(1) 広報活動を活性化し、情報公開に努める。	①学校の最新情報をタイムリーに提供する。 (ア)「ロ加だより」および「ロ加通信」を定期的に発行する。	4.0	今年度も定期的に本校生徒・保護者向けの「ロ加だより」、中学生向けの「ロ加通信」を発行することができた。関係部署の協力に感謝している。	記事の数が多く、文字が小さくなるがあったので、ホームページとの棲み分けを行い、より読みやすい紙面作りを心がける。「ロ加通信」についてはより魅力的な紙面作りを心がける。
		(イ) WEBページの内容を概ね週1回更新する。	4.0	担当の頑張りにより、昨年度よりもWebページの更新頻度が増した。アクセス数も順調に伸びている。	引き続きタイムリーな情報発信に努めたい。担当部署がWebにアップロードできるようにしたい。
		②モニター等を利用した、効果的な情報提供に努める。	3.7	トランスミッターの導入により、モニターへの表示が格段にやりやすくなり、更新頻度が増した。	現在は外来者向けの発信だが、登校時の生徒向けの連絡事項の表示などにも取り組みたい。
		③オープンスクール、学校説明会において、校内外の活動のアピールを行う。	3.8	学校説明会の会場を3会場から5会場に増やしたことで中学生や保護者が参加しやすくなった。	オープンスクールを更に組織的に実施できるように計画する。生徒による企画・運営の場を増やす。
生徒 育成部	(2) 生徒・職員研修の充実と推進を図り、生徒・職員の資質向上に努める。	①タブレット端末等の適切な管理・運営を行い、ICTの効果的な活用を推進する。	3.6	タブレットPCが校内どこでも使えるような環境整備ができた(全館Wi-Fi)。アンケートへの利用など、少しずつ活用の場が増えてきている。	職員の研修の機会を増やす。外部の研修会への参加や、校内研修の機会を増やすとともに、情報共有に努める。
		②研究授業や公開授業、授業評価アンケートを通して授業改善に努め、教師間で自主的な授業力の向上を図る。	3.2	経年研の研究授業の参観を呼びかけたが、授業と重なったりして参観者が少ない状況である。校外の研修についても時間割変更等が難しく、なかなか参加できない。	校内研修や教科会の充実を図る。自教科、他教科の授業を参観しやすくするような「相互授業参観週間」を年に2回実施し、1回は公開授業週間とする。
		③人権・同和・平和教育、芸術鑑賞等のあり方を研究し実践する。	3.5	今年度は「LGBTQ」についての内容を扱った。現代社会の問題に目を向けさせることができた。	人権・同和・平和教育を通して、日頃の学校生活を見直す機会になるような研修内容を計画する。
		④県教育センターや研究機関が主催する校外研修への積極的な参加を呼び掛け、研修後はその成果を教科会や分掌会等で共有する。	2.9	県教育センターや各種研修会の案内が十分にできなかった。	スキャナーを活用し、文書を速やかにPDFにしてポータルサイトを利用して案内をする。
		⑤学年・部活動・事務室と連携し、「青雲寮」の円滑な管理・運営に努める。	3.2	定期的に利用することで、青雲寮の状況把握ができ、必要な修理や改善が実施できた。	気持ちよく使えるよう定期的に清掃するなど、適切な管理・運営に努めたい。また、設備の充実を図る。
(3) PTAと地域の連携を図る。	①PTA各種委員会の活性化とPTA研修の充実を図る。	3.8	調査広報委員会の地道な活動が評価され、広報誌コンクールで最優秀賞を受賞することができた。	新型コロナウイルスの影響で中止されているPTA研修旅行などの行事を復活させ、研修の機会を確保する。	
	②地域行事等に積極的に参加し、PTAと地域の親睦を図る。	3.5	PTAの方が非常に協力的で良好な関係が築けている。創立120周年記念式典前にも清掃活動を実施した。	生徒のボランティア活動の一環として、地域行事のスタッフとして参加する機会を設ける。	
生徒 育成部	(1) 社会に貢献できる人材を育成する。	①端正な容儀に努めさせる。	3.4	概ね実行できた。次年度も継続して実践する。	集会等において生徒自らが端正な容儀を心掛けるように伝えていく。
		②挨拶を励行し、時間を厳守させる。	3.3	概ね実行できたが、挨拶ができなくなっているという指摘もある。	年度初めに全職員で確認する。
		③ボランティア活動をはじめとする対外的な行事を通して、地域に根ざした社会集団の一員としての自覚を促す。	3.5	コロナ禍で通常通りに行うことが難しくしたが、その状況の中でもできる活動を模索した。	積極的に生徒に呼びかけ参加を募る。
		④清掃活動を通して、徳の教育の充実を図る。	3.2	来年度も継続して実践する。	清掃活動の時間への意識を高める。
	(2) 生徒一人ひとりに帰属意識を持たせ、愛校心を涵養する。	①自主自律の精神に基づいた生徒会活動によって、生徒が主体となった行事の企画・立案ができるように促す。	3.6	生徒会や委員会が主体となり、行事等を概ね問題なく遂行することができた。	委員会活動の見直しをする。
		②部活動を活性化し、心身の健全な育成に努める。	3.4	コロナ禍で通常の活動に制限がかかったが、頑張って活動できた。	特になし

	(3) 問題行動を未然に防止する	①① ① ①	3.5	大きな問題行動も発生せず、落ち着いた学校生活であった。	各学年会や担任会からの情報収集を行う。
		② ②	3.2	校内巡視については、学年で積極的に取り組んでもらうようになった。	巡視期間の徹底を行う。
	(4) 交通安全への意識を高める。	① ①	3.6	概ね実行できた。次年度も継続して行ってきたい。	特になし
		② ②	3.5	概ね実行できた。次年度も継続して行ってきたい。	鍵かけ検査を定期的に実施する。
進路指導部	(1) 進路意識・学力の向上	① ①	3.3	make it note等を活用した。特に2年生は学年で集計したものを掲示するなど工夫をした。	来年度も継続していく。
		② ②	3.5	6月に3年生、8月に1・2年生向けに進路講演会を実施した。	来年度も継続していく。
		③ ③	3.1	過去の資料の廃棄を進めた。	もっと整理を進める。過去問などの整理に着手し、より使いやすい環境にする予定。
		④ ④	3.3	5月のPTAは全体では話ができなかったが、各学年で話することができた。8月に保護者向けの進路講演会を実施した。来年も検討したい。	保護者向けは来年度も口之津公民館を使用して多くの保護者に参加を呼びかける。進路指導部の研修も兼ねる。
	(2) 進路指導体制の確立	① ①	3.5	3年補習では公務員クラスと短大・専門学校クラスを作った。	国公立大の総合型・推薦入試の合格者が増えた。今年度の情報を共有し、来年度以降も引き継いでいく予定。
		② ②	3.5	学年と相談しながら実施することができた。	学年ごとに進路に応じた模試の受け方ができた。
		③ ③	3.3	学力検討会・志望校検討会を実施した。ポータルなども利用して情報の共有を図った。	内容についてさらに検討していく。
		④ ④	3.3	各学年で学力検討会・志望校検討会を実施した。	1・2年の検討会を日を分けて実施した。より細かい検討ができたと思う。
	(2) 教員研修の充実	① ①	3.2	進研協主催の九大入試問題研究会に参加していただいた。	学力検討会や志望校検討会などを通じて研修を進めていきたい。
		② ②	3.3	3学年ではかなり進めることができた。	来年度も継続していく。
		③ ③	3.3	3年実力テストの作成などを通して各教科で研修の機会を設けた。新課程入試の試作問題について1年生の学力検討会で検討することができた。	来年度以降は進研協の研修なども実施されるので、その都度全体に情報を発信する必要がある。
		④ ④	3.3	学力検討会・志望校検討会を実施した。	学力検討会や志望校検討会などを通じて研修を進めていきたい。
保健相談部	(1) いじめや不応生徒の早期発見に努める。	① ①	3.7	情報共有のスピードは年々早くなっている。問題は伝え方、伝える順序などをより効果的にすること。	週1回の部会を継続して行い、学年会などの内容も併せて共有する。
		② ②	3.7	紙媒体のみの実施であったので、情報漏洩の懸念もなく、行うことができた。また迅速に相談対応も行うことができた。	来年度も紙媒体で行う。
		③ ③	3.5	SC面談室としての対応はしっかり行うことができた。また、日頃の不登校気味の生徒にも対応できた。	継続して行う。

	(2) 特別な支援を要する生徒や多様な生徒に組織的に対応できる体制を整備拡充する。	①健康面・学習面・生活面・対人面等において、配慮の必要な生徒に対する校内支援体制を確立する。また、必要に応じて保護者・外部専門機関(SC,SSW等)との連携を図る。	3.7	SCにもご協力いただき、特別支援教育委員会、教育相談委員会を開催することができた。	継続して行う。
		②奨学金の募集案内を的確に行い、手続き等を迅速に行う。	3.6	様々な奨学金制度があり、その都度案内や掲示を迅速に行うことができた。	継続して行う。
	(3) 健康診断、各種心理検査を適切に実施し、結果に基づく事後指導を的確に行う。	①眼科・歯科については、定期的に受診状況を確認し、治療・改善を促す。	3.8	定期的に治療を促し、治療率は視力23%、歯科43.2%であった。	継続して行う。
		②心理検査結果について説明会を実施し、生徒理解に活用する。	3.5	検査・説明会の開催時期については専門家のアドバイスを基に適時に行うことができた。	継続して行う。
	(4) 広報の活性化に努め、健康の大切さについて啓発する。	①「保健だより」「ロカロールームだより」等を発行し、健康管理の実践的態度を育てる。	3.7	保健だより、ロカロールームだより共に定期的に発行することができた。	継続して行う。
		②保健委員会や体育委員会の活動を通して、健康寿命の大切さを意識させる。	3.6	感染症対策として各種委員会を開催し、健康について意識させることができた。	継続して行う。
	(5) 安全管理に努め、衛生的な環境づくりを推進する。	①安全点検・環境衛生検査による健全な学習環境の管理を適切に行う。	3.7	各種点検については、学校薬剤師のご指導の下、適切に行った。また、環境改善については、安全点検結果をもとに事務室に相談する流れができた。	継続して行う。
		②防災計画・危機管理マニュアルを整備する。	3.7	年度初めにマニュアルを職員全員に配布して、情報共有を図っている。	継続して行う。
事務部	(1) 関係規則・法令等に則り、適正な会計事務執行に努める。各人が知識の習得に努めるとともに、事務室内の相互チェックを意識的に行う。	①関係規則・法令等の確認を行う。	3.6	記憶や経験、憶測に基づかず法規等の確認と関係各所への問い合わせにより事務処理を進めることができた。	逐一確認を行うルーティンを一層確実なものとしてきたい。
		②書類の供覧を行う。	3.6	書棚等の整理によりある程度達成できた。	データの共有も含め整理を徹底していきたい。
	(2) 安全・安心な学校生活を送ることができるよう、施設設備等の維持・管理及び整備に努める。	①校内の点検や安全衛生委員会の報告を基に施設設備等の維持・管理及び整備を行う。	3.4	担当事務員の素早い対処もあって例年に比べかなりの予算が確保できた。とはいえ十分職員生徒の要望に応えられたとは言い難い。	必要予算の確保に向けて、危機感をもって強く県へアピールしていく必要がある。
	(3) 節電・節水等に努め、地球環境の改善並びに経費の削減に努める。	①目標使用量を定め、使用量が多い場合は削減を呼びかける。	3.5	コロナ対策もあって節減には程よい状況である。	明確な数値の設定と、職員生徒への周知を徹底していきたい。
	(4) 給与・福利厚生等について、職員からの相談等に適切に対応できるよう努める。	①手当・福利厚生等について対象職員を把握し、必要書類の呼びかけや制度の説明を行う。	3.6	職員一人一人の現状把握に努め、適切に処理を行っていた。	引き続き正確な把握と適切な処理に努めていく。
	(5) 生徒・職員及び来校者が気軽に立ち寄ることができる事務室の雰囲気づくりに努める。	①常にコミュニケーションを取り合い明るい雰囲気を作る。	3.5	職員同士の関係は良好であり、生徒も比較的気負いもなく事務室に入室・相談を行っている。	引き続き良好な関係を維持するとともに、生徒への誠実な対応を心掛ける。

令和4年度 学校評価アンケート結果【生徒】

4：そう思う 3：どちらかと言えばそう思う 2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない

質問項目		R04				R03	R02
		4の割合(%)	3の割合(%)	2の割合(%)	1の割合(%)	平均	平均
1	学校は校訓や学校・学級の目標を生徒にはっきり伝えてくれる。	34.1	56.4	9.1	0.5	3.2	3.1 3.0
2	学校には多様な進路希望を実現できる学科・コースやカリキュラム(教育課程)が整備されている。	59.5	37.3	2.3	0.9	3.6	3.5 3.5
3	学年集会や「総合的な探究の時間」など各学年の活動が充実している。	70.0	26.4	2.7	0.9	3.7	3.5 3.4
4	平和、人権・同和について学習する時間が設定されており、理解と意識を高めることができる。	61.8	35.9	2.3	0.0	3.6	3.5 3.4
5	政治や選挙について学習する時間が設定されており、社会参画の意識を高めることができる。	30.9	55.5	12.7	0.9	3.2	3.3 2.8
6	授業その他で環境問題について学習する時間が設定されており、取組も行われている。	35.5	45.9	17.7	0.9	3.2	3.0 2.7
7	交通安全や事故防止について考える時間が設定されており、指導も適切に行われている。	50.5	42.3	7.3	0.0	3.4	3.2 3.1
8	ボランティア活動について十分な情報提供と呼びかけがあり、多くの生徒が参加している。	40.0	44.1	15.0	0.9	3.2	3.1 3.2
9	いじめや悩みの調査が設定されており、対応も適切である。	46.8	46.8	5.5	0.9	3.4	3.3 3.3
10	文化祭や体育祭等の学校行事が充実している。	67.3	29.1	2.7	0.9	3.6	3.4 3.5
11	部活動は活発である。	68.6	27.7	3.2	0.5	3.6	3.5 3.5
12	図書室には読みたい本(見たいDVD)等があり、蔵書が充実している。	51.8	44.5	3.2	0.5	3.5	3.4 3.2
13	学校は施設の安全・美化が行き届き、環境衛生が保たれている。	25.5	51.4	18.6	4.5	3.0	2.8 2.8
14	先生は進路目標の確立とその実現のために、きめ細やかな指導をしてくれる。	57.7	37.3	4.1	0.9	3.5	3.4 3.3
15	先生は生徒の学力を向上させるために、授業の工夫や充実に取り組んでいる。	55.0	38.6	5.5	0.9	3.5	3.4 3.4
16	先生は生徒のことを理解しようと努め、正すべき点は指摘して適切に指導してくれる。	57.3	37.3	4.5	0.9	3.5	3.4 3.4
17	先生は学習・進路・体調等の相談に親身になって対応してくれる。	62.3	33.6	2.7	1.4	3.6	3.5 3.5

令和4年度 学校評価アンケート結果【保護者】

4：そう思う 3：どちらかと言えばそう思う 2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない

質問項目	R04				R03	R02	
	4の割合(%)	3の割合(%)	2の割合(%)	1の割合(%)	平均	平均	
1 学校の学科・コース・教育課程(カリキュラム)は、子どもの進路希望を実現するものになっている。	39.1	55.2	5.2	0.4	3.3	3.3	3.3
2 学校は子どもの進路目標の確立と実現のために必要な情報を提供して適切な進路指導を行っている。	36.1	55.7	7.4	0.9	3.3	3.4	3.2
3 学校は積極的に保護者や地域に広報・情報発信をしている。	44.8	51.3	3.9	0.0	3.4	3.3	3.2
4 学校は家庭・地域社会と連携・協働した教育活動に力を入れている。	32.2	59.1	8.7	0.0	3.2	3.2	3.1
5 学校は平和教育や、いじめ根絶も含めた人権・同和教育に熱心に取り組んでいる。	26.5	61.7	10.0	1.7	3.1	3.2	3.1
6 学校は交通安全意識を育てるための指導を計画的・組織的に実施している。	24.3	63.5	11.7	0.4	3.1	3.2	3.0
7 学校施設の美化、安全管理、衛生管理は十分になされている。	26.5	60.4	11.3	1.7	3.1	3.3	3.2
8 子どもの学校生活は、基本的な生活習慣が守られ、規律あるものになっている。	37.8	58.3	3.9	0.0	3.3	3.4	3.3
9 文化祭や体育祭などの学校行事が活発で、子どもたちは生き生きとしている。	51.3	46.5	2.2	0.0	3.5	3.4	3.3
10 部活動は全体的に活発で、子どもは積極的に参加している。	50.4	45.2	3.5	0.9	3.5	3.5	3.4
11 子どもはボランティア活動に積極的に取り組んでいる。	17.8	53.5	25.7	3.0	2.9	3.0	2.9
12 職員は子どもをよく理解し、真剣に対応してくれる。	37.4	53.0	9.6	0.0	3.3	3.3	3.2
13 子どもの学習や進路について、保護者は職員に相談しやすく、対応も適切である。	34.3	55.7	9.1	0.9	3.2	3.3	3.3
14 子どもの体調や悩みなどについて、保護者は職員に相談しやすく、対応も適切である。	37.0	51.7	10.4	0.9	3.2	3.4	3.3
15 子どもの学校での様子や事故・病気等について、職員は家庭への連絡を適切に行っている。	41.3	48.7	10.0	0.0	3.3	3.4	3.3
16 訪問時や電話での職員の対応は丁寧かつ適切である。	55.2	41.3	3.5	0.0	3.5	3.5	3.5
17 事務室は諸納金や証明書等について適切に対応している。	55.7	42.6	1.7	0.0	3.5	3.6	3.4

【総評】

<p>評価の結果 (成果と課題)</p>	<p>(1) 生徒・保護者の評価</p> <p>○生徒によるアンケート結果では、昨年度よりも評価が上がった項目が16項目あった。コロナ禍においても工夫して学校行事ができるようになった結果であることが考えられる。4段階のうち、2と1の割合が高いのは、「主権者教育」、「環境教育」、「ボランティア活動」、「学校施設の美化等」である。その中でも成年年齢が18歳に引き下げられたこともあり、社会の担い手としての意識を高める「主権者教育」に力を入れていきたいと考えている。</p> <p>一方、保護者によるアンケート結果では、昨年度より評価が下がった項目が9項目あった。4段階のうち、2と1の割合が高いのは、「平和教育、人権・同和教育」、「交通安全意識」、「学校施設の美化等」、「ボランティア活動」、「職員への相談のしやすさ」である。「学校施設の美化等」について評価が低いのは、施設の古さが起因していると考えられるが、校内の清掃に心がけ、美化に努めたいと思う。今後、各学年、関係分掌等で分析し、来年度へ向けての取り組みの検討をしていきたいと考えている。</p> <p>(2) 職員の自己評価</p> <p>○広報研修部や進路指導部において職員研修の充実に関する評価の低さが見られる。入試に関する指導の研究と実践に努めるとともに、県教育センターや研究機関が実施する研修への積極的な参加を呼びかけていきたい。</p>
<p>来年度の改善策</p>	<p>(1) 研究授業や公開授業をより多く実施する。近隣中学校や高校に参観者を募り、授業を見ていただくことで本校の魅力を伝えていきたい。</p> <p>(2) 施設・設備については県に必要な改修を要望する。清掃活動については、行き届かない箇所がないように定期的にチェックするなど工夫をしていく。</p> <p>(3) 新年度新たにEdtech教材の導入を考えている。教職員がICTを効果的に活用できるようにICT推進委員会を中心にして、職員研修の実施や研修会への参加を勧めていきたい。</p> <p>(4) 各科・コースのさらなる魅力化のため、新たな可能性の模索を図りたい。そのために、特色ある授業の実施、計画的な補習や模擬試験、就職・公務員の指導、国家資格取得に向けた福祉科の指導の在り方などを改めて考えていきたい。</p> <p>(5) 生徒募集が喫緊の課題である。多様な進路希望に対応できることが本校の魅力の1つであるが、併せて進路実績を上げていくことが中学生や保護者、地域へのアピールとなる。今年度の卒業生の進路実績や</p>

	<p>状況を検証し、来年度更なる結果を残すことができるようにしていきたい。</p> <p>(6) 創立 120 周年記念事業等でも地域の方々や卒業生などの多大なる協力をいただいた。更に応援される地域の学校として、新たな視点で情報発信をしていく必要がある。</p>
--	---